

壁面用水平垂直ディスプレイアーム (EEX-TVKA001 シリーズ) 組立説明書

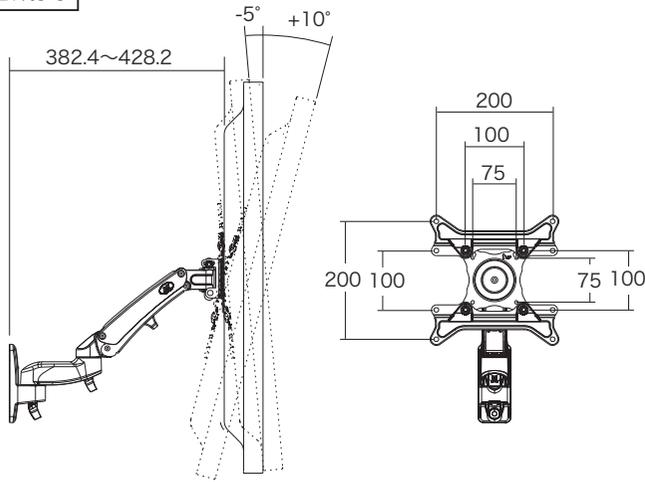
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

組立説明書は大切に保管してください。
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

<用意していただくもの>
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)
プラスドライバー、4mmと10mmのドリルの刃、電動ドリル

Ver.1.0

完成図



耐荷重 10kg

組立て部品

①アーム×1台

③ワッシャーF×4枚

④スペーサーG×4個

⑤BOXレンチH×1個

⑥ワッシャーI×2枚

⑦アンカーJ×2本

⑧六角レンチK×1個

②ブラケット×2個

<使用ボルト>

⑨ボルトA×4本 (M4×25)

⑩ボルトB×4本 (M5×25)

⑪ボルトC×4本 (M6×25)

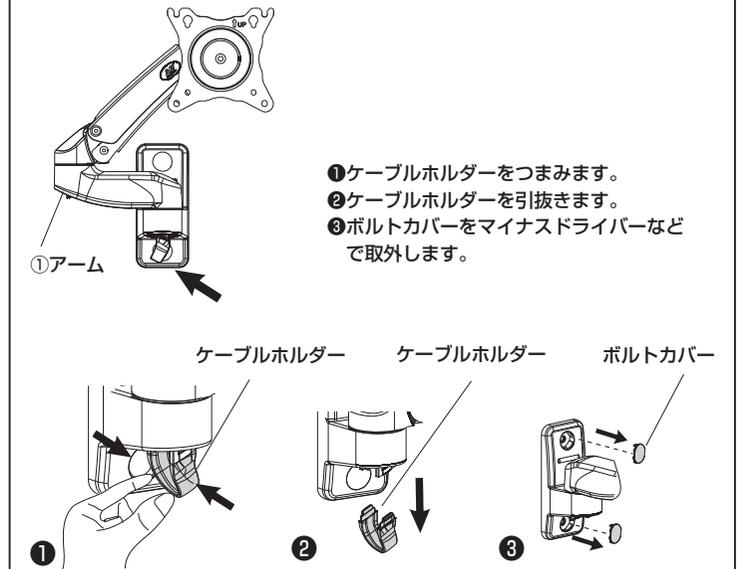
⑫ボルトD×4本 (M8×25)

⑬ボルトE×4本 (M6×6)

⑭ボルトI×2本 (M6×60)

※部品の欠品や破損があった場合は、品番 (EEX-TVKA001 など) と
上記の部品番号 (①~⑭) と部品名 (アンカーなど) をお知らせください。

1. アームからケーブルホルダーとボルトカバーを取外します。



2. アームを壁面に取付けます。

※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取り付けてください。壁面はディスプレイと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

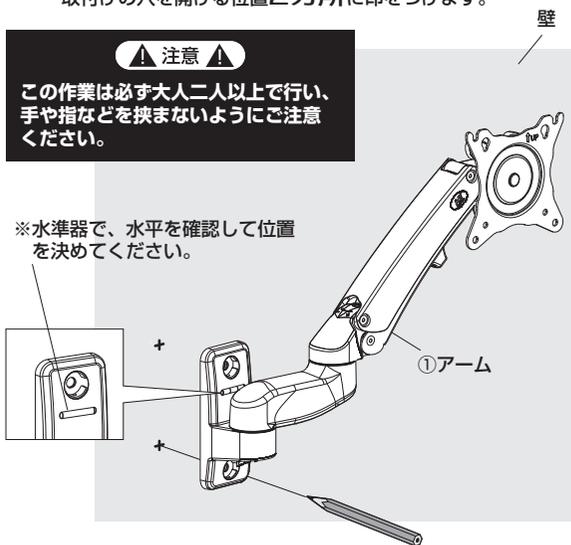
<コンクリートの壁への取付け>

①アームを設置する壁に当ててテンプレートにし、
取付けの穴を開ける位置2カ所に印をつけます。

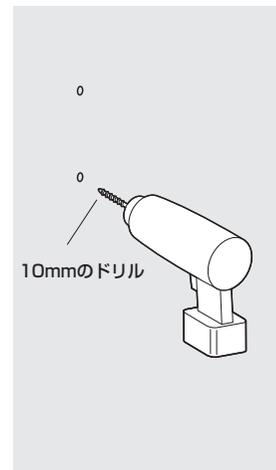
⚠注意⚠

この作業は必ず大人二人以上で行い、
手や指などを挟まないようご注意ください。

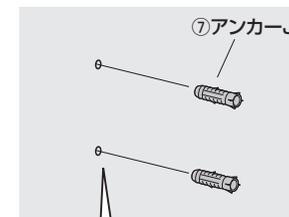
※水準器で、水平を確認して位置
を決めてください。



②ドリルを使い壁に印をつけた
2カ所に直径10mm、深さ
約60mmの下穴をあけます。



③下穴にアンカーJを差し込みます。



横から見た断面図

壁内部

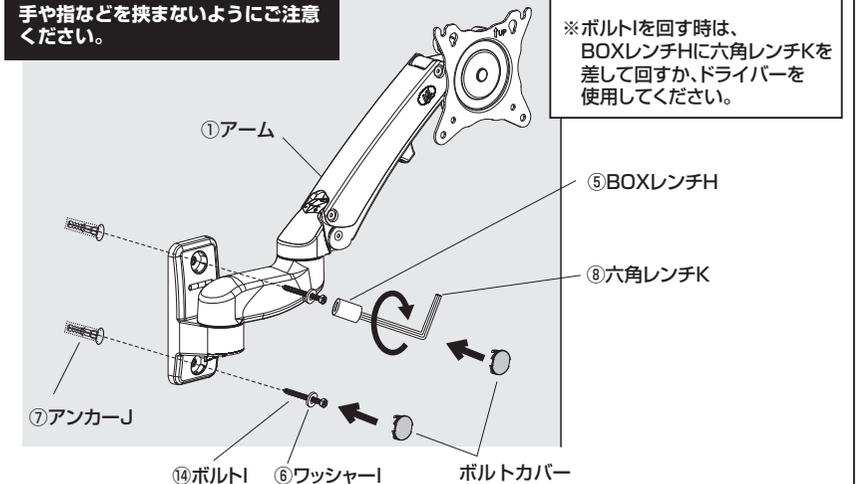
⑦アンカーJ

※アンカーJは全て穴に入る
ように奥まで押し込みます。

④ボルトIでアームを固定し、ボルトカバーを取付けます。

⚠注意⚠

この作業は必ず大人二人以上で行い、
手や指などを挟まないようにご注意
ください。



<使用ボルト>

⑭ボルトI (M6×60)

※ボルトIを回す時は、
BOXレンチHに六角レンチKを
差して回すか、ドライバーを
使用してください。

2. アームを壁面に取付けます。(続き)

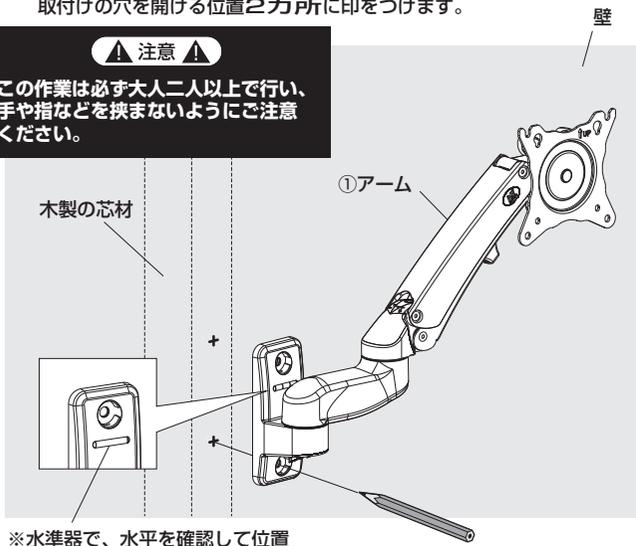
※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所を取付けてください。壁面はディスプレイと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

<木製の芯材がある壁への取付け>

- ①アームを設置する壁に当ててテンプレートにし、取付けの穴を開ける位置2カ所に印をつけます。

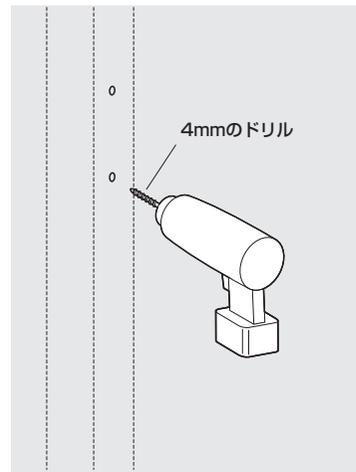


この作業は必ず大人二人以上で行い、手や指などを挟まないようにご注意ください。



※水準器で、水平を確認して位置を決めてください。

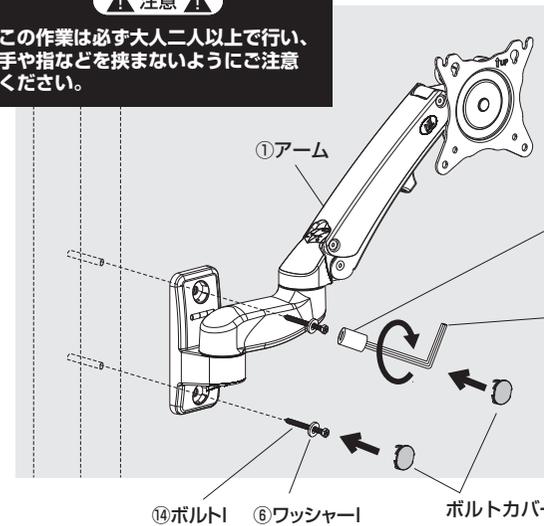
- ②ドリルを使い壁に印をつけた2カ所に直径4mm 深さ約60mmの下穴をあけます。



- ③ボルトでアームを固定し、ボルトカバーを取付けます。



この作業は必ず大人二人以上で行い、手や指などを挟まないようにご注意ください。



<使用ボルト>



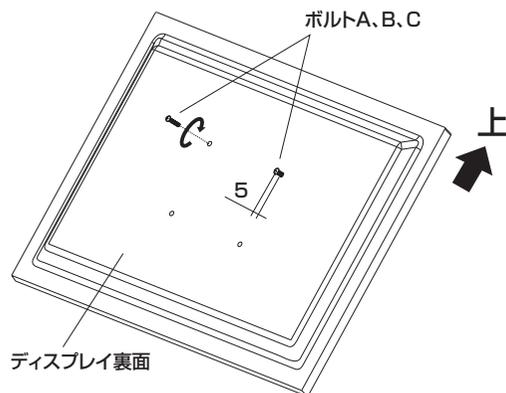
⑭ボルトI (M6×60)

※ボルトを回す時は、BOXレンチHに六角レンチKを差し回すか、ドライバーを使用してください。

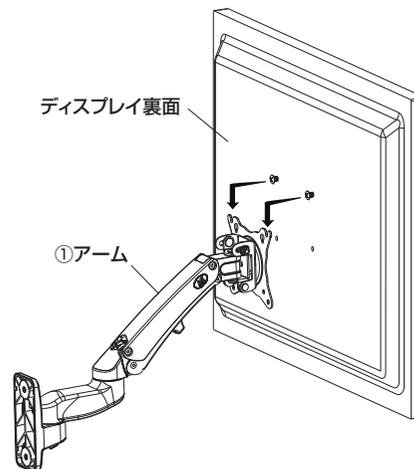
3. ディスプレイをアームに取付けます。

<VESA取付け穴ピッチが75×75と100×100の場合>

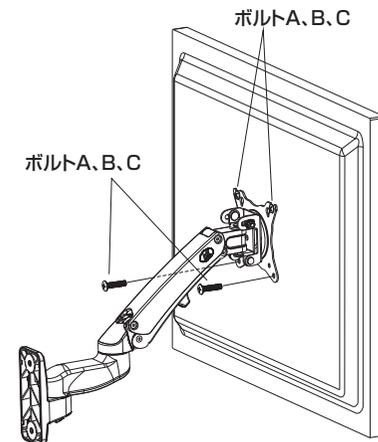
- ①ディスプレイの上2カ所にボルトを取付けます。
 ※ボルトA、B、Cから適合するものを選びます。
 ※ボルトは隙間が約5mm残るように取付けます。
 ※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください、市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。



- ②ディスプレイをアームに引っ掛けます。



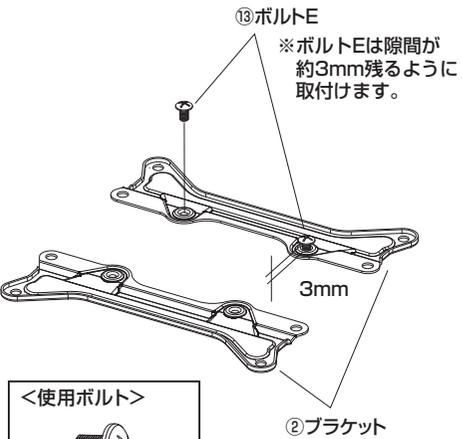
- ③ボルトでディスプレイを固定します。
 ※ボルトは4本ともしっかり締めてください。



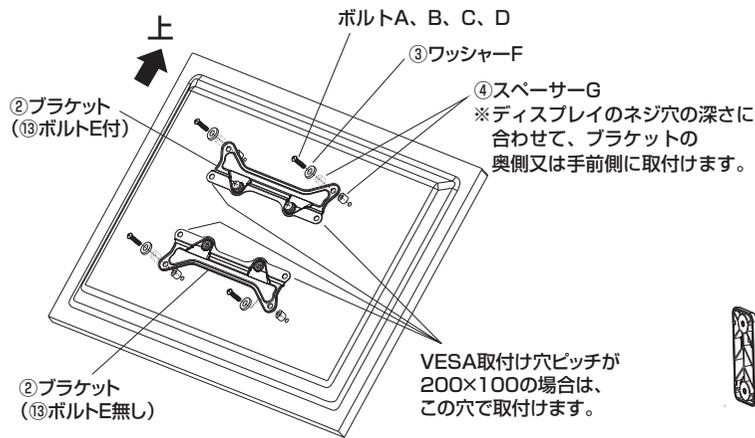
3. ディスプレイをアームに取付けます。(続き)

<VESA取付け穴ピッチが200×100と200×200の場合>

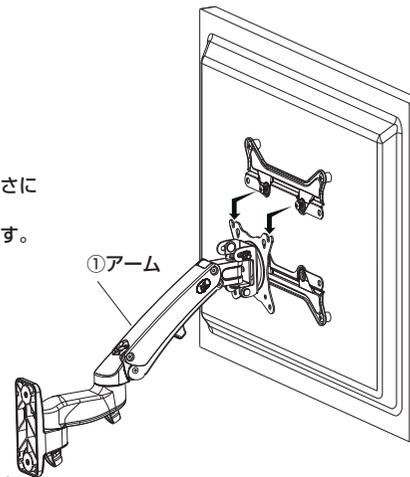
- ①片方のブラケットにボルトEを2本取付けます。
※ブラケットには裏表があります。
下図の側に取付けます。



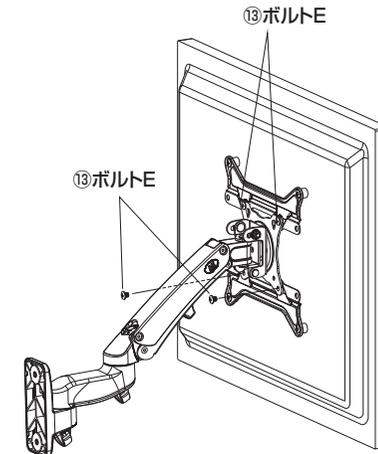
- ②ディスプレイにブラケットを取付けます。
※ボルトA、B、C、Dから適合するものを選びます。
※ボルトEを取付けたブラケットを上側にします。
※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。



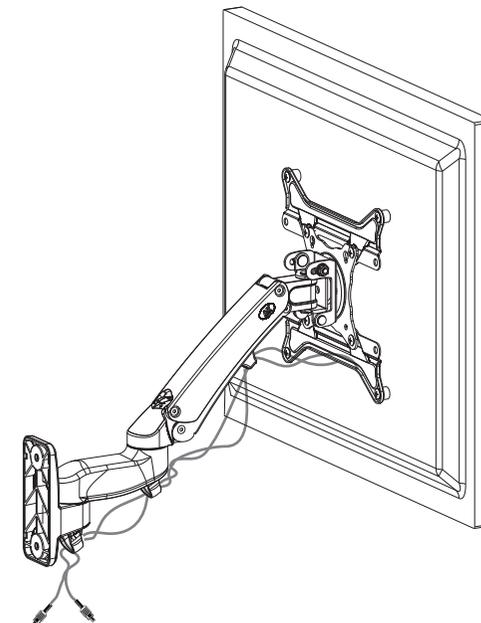
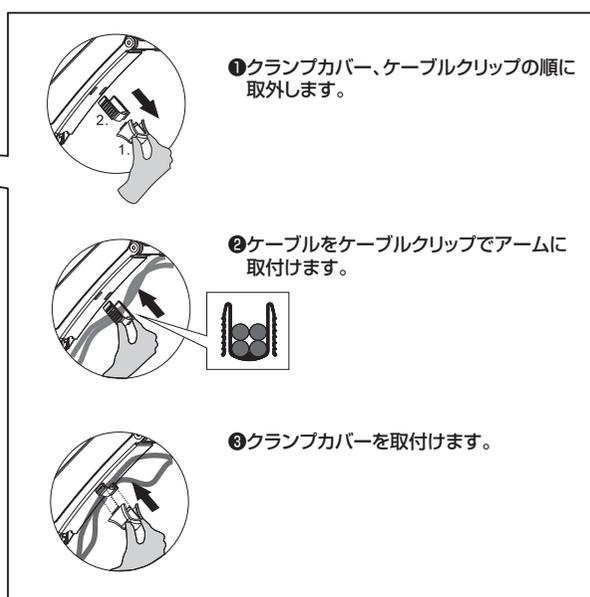
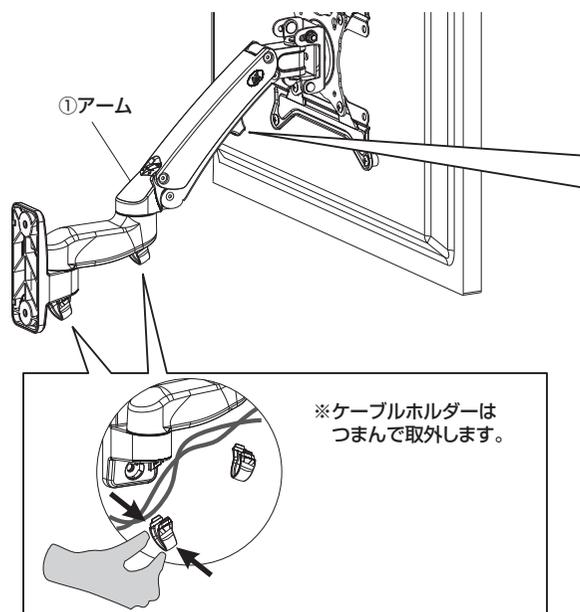
- ③ディスプレイをアームに引っ掛けます。



- ④ボルトでディスプレイを固定します。
※ボルトEは4本もしっかり締めてください。

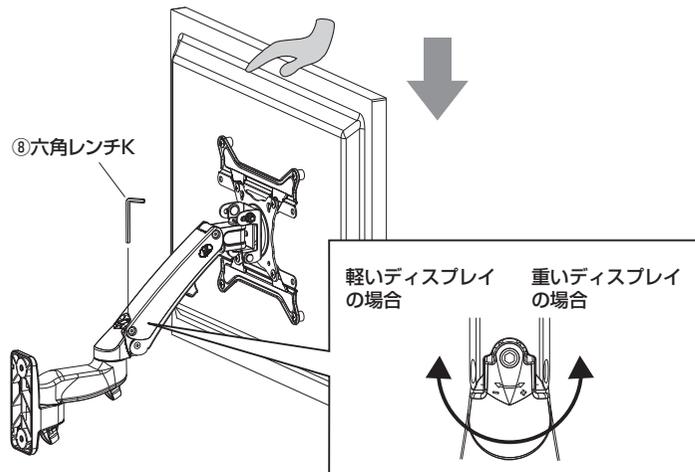


4. ケーブルをケーブルクリップ・ケーブルホルダーに通して完成です。

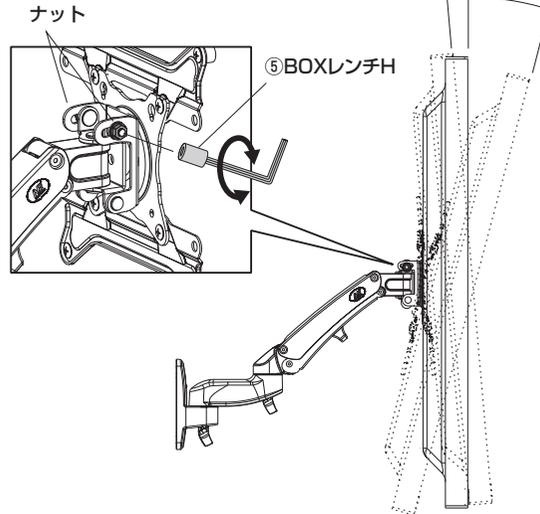


各部の固さや角度調節、及び可動範囲

- ※取付けるディスプレイの重量に合わせて、アームが釣り合うように六角レンチでボルトを回して調整します。
- ※ディスプレイを手で押し下げてボルトを回します。

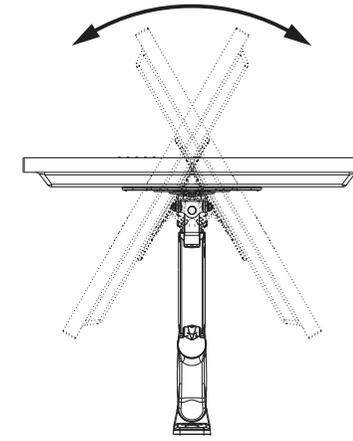


- ※左右のナットをBOXレンチHでゆるめてディスプレイの前後の角度を調整します。調整後はナットをしっかりと締めてください。



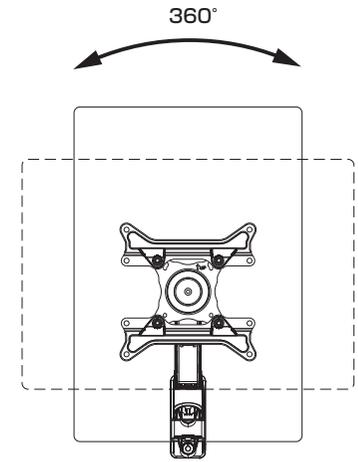
横から見た図

- ※ディスプレイは左右に角度が変えられます。



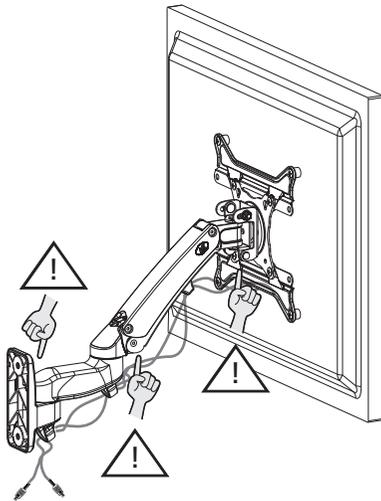
上から見た図

- ※ディスプレイは360°回転します。



正面から見た図

可動部分で指をはさまないようにお気をつけください。



使用上のご注意

- 必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取付けてください。壁面はディスプレイと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。
- 可動部分で指などをはさまないように注意してください。
- アームに10kgを超える機器は取付けしないでください。
- アーム部に物を置かないでください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店までお気軽にご相談ください。

取扱説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

山陽トランスポート有限会社

店名: イーサプライ <https://www.esupply.co.jp>
岡山県倉敷市児島梅田1861 TEL: 086-473-9152

BI/AE/MF0a